

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワークの概要

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

（ 青森県、山形県、石川県、福井県、山梨県、長野県、
三重県、奈良県、鳥取県、島根県、高知県、熊本県 ）

平成24年5月16日

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

- 新しい国づくりに向け「自立と分散・連携」を掲げ、ともに行動する政策集団
- 地方の12県が「Local and Local」でつながり、「地方知」を結集

地方から日本を変える政策集団

1. 政策提案
2. 共同研究
3. 新連携



自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク 設立趣意書

都市、地方を問わない急速な高齢化、少子化とともに進む人口の減少、世界的な規模の産業再編とグローバルな企業間競争など、我が国の経済社会は過去の歴史や世界の国々に範を求め得ない課題に直面している。

特に、地方圏においては、若者や企業の大都市圏への流出、過疎化の進行、地域産業の衰退などの問題がますます顕在化している。

停滞の原因は、グローバリゼーションや人口減少、少子高齢化などの社会変化に対応するため、大都市に人口や産業、資金を集中させるという、規模拡大により効率性を追求する政策を国主導で行ってきたことにある。

このようなビジョン・手法は、結局のところ地方を疲弊させただけでなく、大都市にも様々なリスクを集積させるという悪循環を生み出し、日本全体を脆弱にした。

しかし、課題はイノベーションの源でもある。日本が活力を取り戻し、世界において活躍・貢献できる国に生まれ変わるためには、直ちに実行すべきことが2つある。

第一に、地方自らが、一つひとつの課題に密着した「地方知」に基づく創意工夫を行い、自立することである。これは、集中と規模拡大という戦略ではなく、地方分権・分散の発想の下での新しい国づくり戦略である。

第二には、このような明確な意志を持った地方が、これまでの広域連携の枠組みを超えて相互にネットワークを築き、中心をつくらず「local and local」でつながることにより、新しい地方自治のモデルを自らの手で創り上げることである。

我が国は明治維新以来、集権的な思想に支えられる様々な制度を整え、経済的な豊かさの実現を目指してきた。今、「地域主権」国家の実現を目指すために、単に制度・システムの見直しを行うだけでは、「国のかたち」は変わらない。

同時に求められるのは、人びとの気持ちと行動、すなわち制度を支える自治の精神を高め、ふるさとへの自信と誇りを育てていくことである。これは、自治の現場である地方自治体自らが責任を持って進めるべき大きな仕事である。

このような理念と意識を共有する我々は、新しいふるさとの創造に向けて「地域主権」に内実を吹き込む政策グループとして、「自立と分散・連携」を掲げ政策のイノベーションを進めるとともに、そのために必要な政策の転換を国に積極的に提言する。

平成22年1月21日

青森県知事	三 村 申 吾
山形県知事	吉 村 美栄子
福井県知事	西 川 一 誠
山梨県知事	横 内 正 明
長野県知事	阿 部 守 一
奈良県知事	荒 井 正 吾
島根県知事	溝 口 善兵衛
高知県知事	尾 崎 正 直
熊本県知事	蒲 島 郁 夫

(平成22年4月から)

石川県知事	谷 本 正 憲
鳥取県知事	平 井 伸 治

(平成23年12月から)

三重県知事	鈴 木 英 敬
-------	---------

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワークの活動 【知事会合】

○ 知事会合

平成22年	1月21日	第1回知事会合（都道府県会館〔東京〕）
平成22年	4月6日	第2回知事会合（都道府県会館〔東京〕）
平成22年	5月20日	第3回知事会合（ホテルニューオータニ〔東京〕）
平成23年	8月3日	第4回知事会合（奈良県新公会堂〔奈良〕）
平成24年	8月	第5回知事会合【島根県で開催予定】



第4回知事会合の様子



第4回知事会合後の記者会見の様子

○ 政策提案 （平成22年5月20日）

日本のかたちを変える政策イノベーションを提案

「自立と分散で豊かな日本を ～大都市と地方のこれからについて～」

◆地方の力を活かし、国や大都市の課題を解決

- ①企業の地方分散により大都市の過密と少子化を改善
- ②大学の地方分散により優れた「知」の全国拡大・活用
- ③都市住民に地方の豊かな暮らしを提供
- ④都市の高齢化問題の解決を地方が応援
- ⑤地方の資源を活かした日本の環境保全対策

◆地方の力を活かすための必要条件

- ⑥高速交通網整備による都市と地方のネットワーク化
- ⑦人口の地方分散を支える地域医療の確保
- ⑧地方が日本の発展に貢献するための財源確保

○ 新しい国づくりに関する共同宣言（奈良宣言） （平成23年8月3日）

東日本大震災を受け、将来を見通した新しい日本の国づくりに向けて提言を行うとともに、被災された方々が新しい一歩を踏み出していけるよう、地方自らが行動することを決議

東日本大震災からおよそ5か月、生活再建や地域の復旧・復興の歩みは続いています。被災された皆様をはじめ、何世代にもわたり引き継がれてきた「ふるさと」の姿に心を痛めている皆様に、改めて心からお見舞いを申し上げます。

今回の大災害は、国民生活や経済活動に甚大な影響を与えただけでなく、これまでの国づくりのあり方や人々の価値観の転換をも問いかけています。それぞれの地域がお互いに支え合うことの重要性が高まる今こそ、都市と地方がお互いの地域の特長を活かす新しい関係を築くべきです。

我々は、歴史上はじめて我が国のかたちを定め、悠久の歴史を有する奈良の地で、将来を見通した新しい日本の国づくりに向けて、以下のとおり提言を行うとともに、被災された方々が新しい一歩を力強く踏み出していけるよう、また、将来にわたって安心して暮らせる社会を構築していけるよう、地方自らが行動することを宣言します。

◆新しい日本の基盤づくり

○豊かな自然や人と人の絆の強さなど地方の持つ魅力や日本の潜在能力を生かし、国全体としてリスクの分散とバックアップ体制の構築を図るため、地方の自立・分散を進めること。

○日本海側と太平洋側、また東日本と西日本が相互に支え合う複軸型の国土構造に転換することにより、災害に強い国土の構築を図ること。併せて、災害時の被害を極力少なくする「減災」対策を進めること。

○節電、生活スタイルの見直しなどによる省エネルギーの推進や太陽光、風力、バイオマス、水力などの再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの多角化を進め、それぞれの地域が持つ強みを生かす分散型の産業構造の構築を図ること。

◆再生に向けた活力づくり

○ともに支え合い、助け合う社会の重要性を認識し、産業、消費、観光、ボランティアなど様々な分野で、被災地の復旧・復興、活力づくりを応援する取組みを進めること。

○日本中の子どもたちが思いやりの心や未来への希望を育んでいけるよう、また誰もがいくつになっても生きがいを持って暮らしていけるよう、温かく生き生きとした地域づくりを進めること。

○地域の個性や強みを生かした農林水産業、製造業、観光などの産業を振興するとともに、地域間・業種間など様々な分野での新たな連携・交流を進めること。

○ 災害に強い国づくりに関する提言 （平成23年11月21日）

国が「東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会」を設置するとの報道を受け、検討会設置に先立ち、災害に強い国づくりについて前田国土交通大臣に提言

災害に強い国づくりに関する提言

様々な災害が発生するリスクを負っている我が国においては、国民の生命・財産を守り、将来にわたって安心して暮らせる社会を構築する必要がある。

そのためには、今回の東日本大震災の経験に基づき、国全体としてリスクの分散とバックアップ体制の構築を図ることが急務である。

そうした中、政府は災害時の行政機関の補完に関する検討に着手することとし、平成23年度の事業として検討することも報じられている。しかし、災害に強い国土づくりのためには、政府として防災・減災対策を強化するとともに、過度に一極に集中する行政機能や我が国の経済・社会を支える企業・人材などを分散させることが不可欠である。コミュニケーション技術の進歩により、現在の我が国において、このような分散とネットワークの形成は、十分可能になっている。

これらの点を踏まえ、以下のとおり提言する。

- 1 今回の東日本大震災の経験に基づく防災基本計画の見直しや施設の充実などにより、防災・減災対策の強化を図ること。
- 2 非常事態時において速やかに行政機能を発揮させるため、非常時に限定することなく、通常時においても行政機能を適切に分散配置させること。
- 3 災害に強い国づくりを進めるため、行政機能にとどまることなく一極に集中する企業や人材などの分散配置を進めること。



○ 新たな国づくり税制調査会の設置 （平成23年12月21日）

我が国全体が活力を取り戻し、国際的に活躍・貢献できる国に進化するためには、新たな発想の下での国づくり戦略を描くことが必要。経済社会の構造の変化に対応した望ましい国の姿を創る過程において、これまでも税制は一定の役割を担ってきた。そのため、「新たな国づくり税制調査会」を設置し、我が国の課題を解決する税制を検討

＜新たな国づくり税制の検討の方向性＞

我が国が中長期的な視点で取り組むべき課題を解決するため、以下の6テーマについて国税、地方税を含めて議論を行い、国などに提言

＜本税制調査会で検討する6つのテーマ＞

- ①国内の産業と働く場を守る
- ②過密による都市問題を解決する
- ③安心した老後を暮らせる社会をつくる
- ④大切な森林や農地を守る
- ⑤自然エネルギーを活用する
- ⑥地方の特色ある政策を実現する



第1回税制調査会の様子

○ 共同研究プロジェクト （平成22年5月20日～）

「地方知（Local Knowledge）」を結集し新しい政策を提案・実行

<地域主権の推進>

- （１）「ふるさと希望指数（LHI）研究プロジェクト 【リーダー県：福井県 11県参加】
- （２）分散型国土形成への展望プロジェクト 【リーダー県：高知県 7県参加】
- （３）「地域コミュニティの活性化」研究プロジェクト 【リーダー県：青森県 5県参加】

<地域福祉の充実>

- （４）「婚活応援」プロジェクト 【リーダー県：山形県 5県参加】
- （５）「地方における保育支援」プロジェクト 【リーダー県：長野県 7県参加】
- （６）効果的な健康づくり施策検討プロジェクト 【リーダー県：奈良県 9県参加】

<広域観光の振興>

- （７）「外国人観光客の誘致」研究プロジェクト 【リーダー県：山梨県 5県参加】
- （８）歴史・文化をテーマとした広域観光ネットワーク研究プロジェクト
【リーダー県：島根県 5県参加】

<農林業と環境>

- （９）「森林吸収量の市場取引制度」研究プロジェクト 【リーダー県：鳥取県 10県参加】
- （10）企業等の農業参入支援プロジェクト 【リーダー県：熊本県 7県参加】

○ 地方同士の新たな連携

産・学・官が「ローカル・アンド・ローカル」で多種多様に連携

<農産物直売所における特産物の相互販売>

各県の農産物直売所において、特産物の相互販売を行うことにより、農産物直売所の賑わいづくりと県産農林水産物をPR

【実績】

平成22年度 福井県と5県が連携し実施

平成23年度 福井県と10県、山形県と奈良県が連携し実施



山形県と福井県の連携

<農産物の首都圏での一斉販売>

各県の特色ある農産物等を都心で一堂に集めて販売することにより、集客力を高め、効果的なPRや販路拡大を促進

【実績】

◆青空マルシェin南青山

日時：平成23年10月9日～10日（9県がブースを出店）

場所：ふくい南青山291前の広場

販売品：旬の野菜や果物、農産物の加工品等



青空マルシェin南青山の様子

＜伝統野菜の一斉販売＞

各県が連携し、各県の特徴ある伝統野菜を一斉に集めて販売することにより、伝統野菜の販売を促進

【実績】

◆ふくいの食まるごとフェスタ「人・物・情報」交流フェア

日時：平成23年11月19日～20日

参加県：10県が販売ブースを出店



各県（石川）の販売ブース

＜奈良県産業活性化ミッションによる福井県調査＞

産業活性化に向けた産学官連携策や産業活性化事例を調査するとともに両県の産学官関係者の意見交換を実施

【実績】

平成22年7月14日～15日

訪問者：奈良県副知事ほか奈良県の産学官関係者約40名

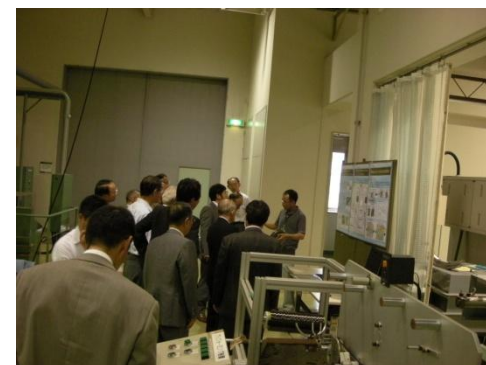
内容：福井県の産学官連携施策の紹介

福井県工業技術センターの共同研究事例の紹介

(財)ふくい産業支援センターの産学官連携成果事例の紹介

福井商工会議所の取り組み紹介、企業視察

福井県内コーディネータ等との意見交換



福井県工業技術センター視察

＜首都圏のアンテナショップに共同販売棚を設置＞

各県のアンテナショップが連携し、各県の特徴ある商品を集めたフェアを開催することにより、首都圏での特産品等の販売を促進

【実績】

共同販売棚の設置場所：ふくい南青山291内

第1弾フェア ご当地カレー（平成23年8月～11月）

第2弾フェア お鍋にあう調味料（平成23年12月～平成24年2月）

第3弾フェア 行楽にあうお菓子（平成24年3月～5月）



12県の共同販売棚

＜学校給食交流＞

各県の小・中学校等で他県の郷土料理や食材を使った給食を提供することにより、子どもたちが各県の特徴や代表的な食・食文化などを学ぶきっかけづくり

【実績】

平成24年1月～2月

6県が参加（346校（各県合計）で「ふるさとの給食」として他県の献立で給食を提供）

《学校給食交流（例）》

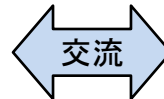
＝島根県の献立＝

- ・麦ごはん
- ・牛乳
- ・あご野焼きの磯辺揚げ
- ・納豆和え
- ・しじみ汁
- ・デラ・ゼリー



【内容】

- ・県の位置・基本情報
- ・郷土料理の特徴、由来
- ・特産物、食文化 など



〇〇県を知ろう

- ・どこ？
- ・おいしい食べ物？
- ・産業？



＝福井県の献立＝

- ・ごはん
- ・牛乳
- ・ソースカツ
- ・小松菜のおひたし
- ・長寿汁
- ・越のルビー(ミディマト)

